

## 公の施設の指定管理者における業務状況評価

平成27年10月22日

施設名	高知県立埋蔵文化財センター	所管課	教育委員会 文化財課
-----	---------------	-----	------------

## 1 施設の概要

指定管理者名	(公財)高知県文化財団	指定期間	平成25年4月1日 ~ 平成30年3月31日
施設所在地	南国市篠原1437-1		
事業内容	○施設管理(埋蔵文化財保護の中核施設として最適な施設管理を行う) ○出土文化財等資料管理(出土遺物を適切に保管・管理し県内外からの依頼に応じて貸出等を行う) ○広報普及(発掘調査成果及び出土文化財を広く県民に公開することにより埋蔵文化財に対する保護の推進と普及啓発を図る)		
施設内容	○面積、施設・設備名、定員、開館時間、休館日、主な料金など 面積:本館(1,038.68㎡) 北館(518.40㎡) 南館(1,045.92㎡) 収蔵庫(1,527.52㎡) 開館時間:午前9時~午後5時まで 休館日:土・日・祝祭日, 12月29日~1月3日 (巡回展の期間中、公開講座等開催日は開館) 利用料金:無料		
職員体制	常勤職員: 5名		

## 2 収支の状況

単位:千円

		平成25年度(決算)	平成26年度(決算)	平成27年度(予算)
収入	県支出金	42,643	42,135	49,203
	使用料・手数料	0	0	0
	その他	424	953(助成金500を含む)	333
	収入計 (a)	43,067	43,088	49,536
支出	事業費	3,525	5,881	6,831
	管理運営費	14,438	15,033	14,972
	人件費	25,104	22,174	27,733
	その他	0	0	0
	支出計 (b)	43,067	43,088	49,536
収支差額 (a)-(b)		0	0	0

### 3 利用状況

	平成25年度(実績)	平成26年度(実績)	平成27年度(目標)
①年間利用者数(単位:人)	3,205	3,120	3,300
②利用者意見等の反映	<p>○利用者アンケート等の実施状況(時期・方法・回答数・調査結果等)            展示公開(遺跡から出土した土器類の展示や展示解説板による説明)や親子考古学教室等での来館者には、アンケートを実施し意見や感想とニーズの把握に努めた。また、出前考古学教室は、児童や教員にも概ね好評であるが、アンケートを活用することでさらに新たな取組みへの参考としていく。            [以下は、アンケート回答の一部]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地元へ歴史的な遺跡があることにワクワクしました。</li> <li>・子どもに誘われてきました。自由研究に活かせると良いです。</li> <li>・体験できる時間を増やしてほしい。昔の人が食べていたものとかとても気になる。</li> <li>・歴史教室に出席したのは今回初めてですが、人物とリンクさせた考古学は面白く感じた。これからも期待したい。</li> <li>・自分たちの校区、住んでいる所にも、弥生・縄文の人たちが生活していたと思うとワクワクします。このワクワクを子ども達にも味あわせてあげたいと思いました。</li> <li>・次は違った形の物を作りたい、銅鏡も作ってみたい。講座の前の話も大変面白かった。</li> <li>・急に見かけて入りましたが、楽しく学習できて子どもも喜んでいました。</li> </ul>		
③その他特記事項			

### 4 平成26年度業務評価

項目	状況説明
①適正な管理運営の確保	○協定書、事業計画書の内容に従って概ね適正な管理が行われた。 ○事故発生はなかったが、万一の時のために消防訓練等を実施し利用者の安全確保に努めた。
②利用者サービスの維持向上	○年間行事カレンダーの作成やホームページで情報発信するとともに、講座への参加経験者に事業案内を送付する等で利用者数の確保に努めた。 ○公開講座等については、「見てもらう展示」に心がけた内容に努めていた。 ○キッズコーナーを設置により若年層への関心を高めることに努めた。 ○職員の研修会を開催し情報共有や知識の研鑽に努め、利用者に対して十分な説明ができるように努めた。
③利用実績	○出前考古学教室等で積極的に館外に出向き、県下94校(3,660人)を対象に「地域の遺跡」に関する授業と体験学習を行った。 ○昨夏の天候不順の影響もあり対前年度比で入館者数は微減したが、出前考古学教室の効果やキッズコーナーの設置、キャラクター展開により来館者数に占める子どもの割合が高くなった。
④収支の状況	○県からの指定管理代行料に加え外部資金を活用するとともに、経費の節減に努めつつ適正な支出が行なわれている。
総合評価	<p>A</p> <p>○出前考古学教室は好評である。            ○助成金等の外部資金を活用し埋文センターのマスコットキャラクターを活用した新たな事業展開、また、各種企画展や公開講座等の実施は知名度アップと考古学への関心の高まりに努めている。            ○利用者サービスや施設管理については概ね適正にできている。            ○埋蔵文化財保護の中核施設づくりを目指す一方、埋蔵文化財に対する理解や利用者数を確保するため外部で地域展等を開催し県民に出土遺物等の実物に触れる機会や講座の開催等に努めている。</p>

#### 【評価の目安】

- A: 仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの  
 B: おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの  
 C: 仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの  
 D: 管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの